

お客様各位

キヤノンITソリューションズ株式会社

ライトニング FAX バージョン 6.00 リビジョン00 変更内容について

拝啓 貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は、当社製品に格別なるご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。
さて、当社製品「ライトニング FAX」(Ver. 5.5-68→Ver. 6.00-00)において、
下記のような改修を行いましたのでお知らせ致します。

敬具

記

[強化項目]

以下の機能を強化しました。

[システム全般]

◎キヤノン製オフィス向け複合機(imageRUNNER ADVANCE)を通信デバイスとして FAX の送受信をできるようにしました。

※本機能の利用には、MFP 対応版の回線ライセンスが必要です。

※本機能は以下の OS に対応しています。

- ・ Microsoft Windows Server 2012 R2 Standard
- ・ Microsoft Windows Server 2012 R2 Essentials
- ・ Microsoft Windows Server 2012 Standard
- ・ Microsoft Windows Server 2012 Essentials
- ・ Microsoft Windows Server 2008 R2 Standard (SP1)
- ・ Microsoft Windows Server 2008 R2 Enterprise (SP1)

*Windows Server Core 機能での動作には対応していません。

※宛先により自動的に別のライトニング FAX サーバに転送して送信する LCR 機能は使用できません。

◎受信 FAX に含まれる QR コードを解析し、解析結果の文字列を受信アイテムの情報として登録する機能を追加しました。

※本機能の利用には、『簡易 FAX 配信ツール for Excel』(Ver. 2.08-00 以降)のライセンスが必要です。

※本機能は、ライトニング FAX サーバの動作対象 OS のうち「Microsoft Windows Server 2008 (SP2) (32bit)」では利用できません。

◎以下の OS を動作対象から除きました。

<クライアント>

- ・ Microsoft Windows 8 (32bit/64bit)

◎マスタ媒体の提供形態を CD (2 枚構成) から DVD (1 枚構成) に変更しました。

[改修項目]

以下の問題点を修正しました。

[インストール/アンインストール関連]

- ・ ライトニング FAX サーバを上書きインストールした環境で、ライトニング FAX サーバのアンインストールを行うと、インストール先の LFserver フォルダが削除されずに残る。

[サーバ機能関連]

- ・ LFprint サービスが停止中に送受信された FAX アイテムの自動印刷は、LFprint サービスを開始したときに順次行われ、ステータスが「印刷済」になるが、LFprint サービスを停止してから LFserver サービスを停止するまでに送受信された FAX アイテムでは、自動印刷が行われてもステータスが「印刷済」にならないことがある。

[クライアント機能関連]

- ・ アイテムを連続表示中の FAX ビューワで、前後のアイテムへの表示の切り替えをとまなう操作を行ったときに、以下のメッセージが表示されることがある。
<メッセージ>
表示中の TIF ファイルが、FAX エクスプローラのリスト上から削除されました。
Lightning FAX ビューワを閉じて、選択しなおしてください。
※メッセージボックスのタイトルバーの内容は「lfviewer Error (10002)」です。

[API 機能関連]

- ・ フォルダ連携機能の受信登録サービスにおいて、受信アイテム登録先に指定したユーザがパワーユーザ権限で、登録先に指定したリソースへのアクセス権がそのユーザにない場合に、受信アイテムが登録されず、監視フォルダに PDF ファイルが残ったままになる。

[マニュアル関連]

- ・ 『ライトニング FAX セットアップガイド』の「Dialogic 社 FAX ボード TR1034 をインストールする」および「CT Network BOX をインストールする」の「注意事項」に、自動ルーティングによりナンバーディスプレイの番号が取得できなかった場合に転送情報に入る情報についての説明が記載されていない。
- ・ 『ライトニング FAX セットアップガイド』の「VOISTAGE マルチメディアボックスをインストールする」の「ハードウェアの設定手順」に、以下の NTT データ先端技術社製 VOISTAGE マルチメディアボックスを使用している場合は、電話回線を接続した後に VOISTAGE Core Service サービスを再起動する必要があることが記載されていない。
 - ・ VS-412MB
 - ・ VS-2301MB
- ・ 『ライトニング FAX ユーザーズマニュアル オプション編』の「ライトニング FAX API 詳細情報」の「ユーザ設定フィールド拡張機能」に、以下の内容が記載されていない。
 - ・ 機能を利用するための設定や操作は、カバーシートエディタを起動する OS で行うこと。
 - ・ マスタ媒体の“lfse.lfl”を上書きコピーする先が、64bitOS の場合は OS のシステムドライブ:¥Windows¥SysWOW64 フォルダであること。

[その他]

以下の仮想環境での動作を確認しています。

仮想化システム	ゲスト OS	32ビット	64ビット
VMware ESXi 5.0	Microsoft Windows 8.1	—	○
	Microsoft Windows Server 2008 R2 Enterprise SP1	—	○
VMware ESXi 5.5	Microsoft Windows 7 Professional SP1	—	○
	Microsoft Windows Server 2012 R2 Standard	—	○
Windows Server 2008 R2 Hyper-V	Microsoft Windows Server 2008 Standard SP2	○	—
	Microsoft Windows Server 2008 R2 Standard SP1	—	○
Windows Server 2012 Hyper-V	Microsoft Windows 8.1 Pro	—	○
	Microsoft Windows Server 2008 Standard SP2	○	—
	Microsoft Windows Server 2008 R2 Standard SP1	—	○
	Microsoft Windows Server 2012 Standard	—	○
	Microsoft Windows Server 2012 R2 Standard	—	○
Windows Server 2012 R2 Hyper-V	Microsoft Windows Vista Business Edition SP2	○	—
	Microsoft Windows 7 Professional SP1	—	○
	Microsoft Windows 7 Ultimate SP1	○	—
	Microsoft Windows 8.1 Pro	○	○
	Microsoft Windows Server 2008 R2 Standard SP1	—	○
	Microsoft Windows Server 2012 Standard	—	○
	Microsoft Windows Server 2012 R2 Standard	—	○

○：確認済み —：対象外

注意事項

- ・次の環境では、MFP 連携ドライバについても動作を確認しています。
VMware ESXi 5.5 のゲスト OS 「Microsoft Windows Server 2012 R2 Standard」
Windows Server 2012 Hyper-V のゲスト OS 「Microsoft Windows Server 2008 R2 Standard SP1」
Windows Server 2012 R2 Hyper-V のゲスト OS 「Microsoft Windows Server 2012 R2 Standard」
- ・次の環境では、アパール長崎社製 CT Network BOX 用のライトニング FAX ドライバについても動作を確認しています。
VMware ESXi5.0 のゲスト OS 「Microsoft Windows Server 2008 R2 Enterprise SP1」
- ・ゲスト OS がクライアント OS の場合、ライトニング FAX のクライアント環境として動作を確認しています。

<前提条件>

仮想環境での利用を計画する場合、次の条件をふまえて検討してください。

- ・仮想化システム、ゲスト OS の保守については、お客様の責任でそれぞれのメーカー様、ベンダー様とご契約ください。
- ・ゲスト OS は、ネットワークの接続も含め正常に動作している必要があります。
- ・ゲスト OS のリソースは、ゲスト OS の必要分の他に弊社製品の H/W 要件を満たす十分なリソースを割り当ててください。
- ・仮想環境に起因する不具合は、弊社では対応できません。それぞれのメーカー様、ベンダー様までお問い合わせください。

弊社で確認した仮想化システムとゲスト OS のバージョンと違うバージョンを組み合わせた場合の動作については弊社営業にご相談ください。

以上

Microsoft、Windows、Windows Server、Excel および Hyper-V は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。